

国立病院機構京都医療センター呼吸器内科で診療を受けている患者さんへ

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られる記録をまとめることによって行ないます。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得る必要があります。この研究に関する問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へ御連絡下さい。

「研究課題名」：気腫合併肺線維症(CPFE)合併が肺癌の病態に与える影響

「研究機関」：国立病院機構京都医療センター

「研究責任者」：岡村 美里 （呼吸器内科、医師）

「研究の目的と方法」：

近年、肺がんは、増加傾向にあります。肺がんは、喫煙をリスク因子としています。そのため、喫煙の影響を受ける肺気腫や肺線維症などの病気を合併していることも多く見受けられます。肺がんは、これらを合併していると、放射線治療や抗がん剤治療により、放射線肺臓炎や肺線維症の増悪を来す割合が高くなるとされています。そこで、気腫合併肺線維症(CPFE)や肺気腫、肺線維症などの合併が、肺癌の治療や経過、副作用に与える影響を調べるために、当院で肺がん治療をされている方を対象に、調査を行なう事に致しました。

この研究は、当院通院中の肺がん患者さまを対象に、一般の保険診療行為として行なわれる血液検査・喀痰検査・画像検査・肺生理検査・治療内容などを記録し、気腫合併肺線維症(CPFE)や肺気腫、肺線維症などを合併している方と、合併していない方との間で、病態の差を調べるものです。調べた結果は、国立病院機構京都医療センター呼吸器内科で集計し、解析する予定です。

本研究はすでに国立病院機構京都医療センターにおける倫理委員会で承認されております。この研究の対象となる患者様につきましては、ご異存がなければ調査に加えさせていただきますと思います。なお、研究結果は、学会や出版物として公表することがあります。ご理解とご協力のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

・問い合わせなどの連絡先

国立病院機構京都医療センター 呼吸器内科 岡村美里

連絡先：①電話：075-641-9161（代） FAX：075-643-4325